

平成31年度

学生募集要項  
[工学部AO入試]

宮崎大学

# 宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー(入学者受入・選抜の方針)

## 教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育の理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育
  - ・高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。
  - ・生命や環境保全の科学に親しむとともに、広く自然や社会に触れ、現場から学ぶ態度を育成する。
2. 社会性・国際性の教育
  - ・社会の多様な要請に対応して、社会の発展に積極的に貢献できる課題解決能力を育成する。
  - ・柔軟で論理的な思考力を育成するとともに、日本語による記述・発表の能力や外国語によるコミュニケーション能力を育成する。
3. 専門性の教育
  - ・それぞれの専門分野に関する基礎的知識を修得し、それらを応用できる能力を育成するとともに、専門分野への深い興味を育み、課題探求及び解決能力、自発的に学習する能力を育成する。
  - ・新たな知の創造につながる専門教育を実施し、総合的判断力を育成する。

## アドミッション・ポリシー (入学者受入・選抜の方針)

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)及びカリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施の方針)に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の養成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

### 【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

### 【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入試方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー(入学者受入・選抜の方針)を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、基礎教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

平成31年度 工学部AO入試日程

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p><b>学 科</b></p>       | <p>環境応用化学科<br/>         社会環境システム工学科<br/>         環境ロボティクス学科<br/>         機械設計システム工学科<br/>         電子物理工学科<br/>         電気システム工学科<br/>         情報システム工学科</p> |
| <p><b>入学願出願登録期間</b></p> | <p>平成30年8月10日（金）～24日（金）</p>   |
| <p><b>出 願 期 間</b></p>   | <p>平成30年8月22日（水）～24日（金）</p>   |
| <p><b>試 験 日</b></p>     | <p><b>第1次選考</b><br/>         書類選考<br/> <b>第2次選考</b><br/>         平成30年9月25日（火）、26日（水）</p>   |
| <p><b>合 格 者 発 表</b></p> | <p><b>第1次選考</b><br/>         平成30年9月12日（水）<br/> <b>第2次選考（最終合格）</b><br/>         平成30年10月18日（木）</p>  |

## 目 次

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. アドミッション・ポリシー              | 1  |
| 2. 募集人員                      | 5  |
| 3. 出願資格                      | 5  |
| 4. 出願手続                      | 5  |
| 5. 受験票の印刷                    | 10 |
| 6. A O入試方法等                  | 10 |
| 7. 受験上の注意事項                  | 14 |
| 8. 合格者発表                     | 14 |
| 9. 一般入試, A O入試, 推薦入試への出願及び受験 | 15 |
| 10. 本学の一般入試を志望する者の手続         | 15 |
| 11. 入学手続等                    | 15 |
| 12. 入学手続に関する注意事項             | 19 |
| 13. 個人情報の取扱いについて             | 19 |
| 14. 入学試験成績の情報開示              | 19 |
| 15. 統計資料                     | 21 |
| 16. 試験場配置図                   | 22 |

※学生寄宿舍への入居を希望する者は「11. 入学手続等」をよく読んでください

# 1. アドミッション・ポリシー

| 学科                 | 学科のアドミッション・ポリシー   |
|--------------------|---|
| <b>環境応用化学科</b>     | <p><b>1. 求める学生像</b></p> <p>環境応用化学科では、企業等で実践力を有する工学専門職としてグローバルに活躍できる技術者の育成を教育の目標に掲げ、学士課程を通じて以下の資質や能力を身に付けた人材の育成を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 自然との共生、環境との調和および社会への貢献の視点を持ち、社会的責任感と科学的倫理観をもって物事を判断する能力</li> <li>2) 産業界で技術者として活躍するために必要な工学および化学の基礎を習得し、実験や観察の結果を考察でき、問題解決に柔軟に応用する能力</li> <li>3) 自主的、継続的な学習により知識や技術を高め、それらを課題の探求と解決に生かし、正しく明瞭にまとめ伝える能力</li> </ol> <p>そこで、環境応用化学科では、化学、化学工学および生物工学を基礎として、地球環境や生態系を保全する物質・資源・エネルギーの生産及び循環プロセスに関する技術の創造と発展に貢献できる人材の育成を目的とした教育研究を行います。</p> <p>したがって、本学科では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 化学の知識・技術・考え方を真剣に学び、それを将来、応用化学あるいは環境・生物工学などの分野で活かしたいという情熱を持っている人（主体性）</li> <li>2) 化学及び環境に関連する自然科学に対して幅広い興味や好奇心を持っている人（学問への関心）</li> <li>3) 実験や観察が好きで科学現象について考え、それを表現できる人（思考力、表現力）</li> <li>4) 数学、化学を含む理科及び語学の基礎学力を有し、それを身近な問題に応用できる人（知識・理解）</li> <li>5) チームの一員として自分に与えられた役割を理解し、チームワークのもとで様々な問題を解決し、目的を達成することに貢献できる人（協働性）</li> </ol> |
|                    | <p><b>2. 入学者選抜の基本方針</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 一般入試（前期日程・後期日程）<br/>高等学校で修得した基礎的な学力と環境応用化学を学習する上で重要な理数系科目、および英語の学力について、大学入試センター試験と個別学力試験によって、知識・理解および思考力を総合的に評価します。</li> <li>2) A〇入試<br/>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び小論文、個人面接によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および資質を総合的に判断します。<br/>調査書では、知識・理解について評価します。<br/>自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。<br/>小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。<br/>個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。</li> <li>3) 私費外国人留学生入試<br/>外国人留学生に対し、面接、小論文、および日本留学試験によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および日本語によるコミュニケーション能力を総合的に判断します。<br/>面接では、知識・理解、主体性、および学問への関心について評価します。<br/>小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。<br/>日本留学生試験では、知識・理解および思考力について評価します。</li> </ol>   |
|                    | <p><b>3. 入学までに身に付けてほしいこと</b></p> <p>高等学校または高等専門学校等で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、化学、数学および物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な内容を修得しておくことを求めます。さらに、協調性およびコミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>   |
| <b>社会環境システム工学科</b> | <p><b>1. 求める学生像</b></p> <p>社会環境システム工学科では、技術者の基礎となる能力、土木環境工学のどの分野でも活躍できるための基礎能力、社会の要請を察知・理解して適切な行動ができる、また地球的視点から多面的に物事を考える能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、社会環境システム工学科では、自然との共生が可能な社会基盤（水道、下水道、公園、橋、トンネルなど）の構築や維持補修、交通計画や都市計画、環境保全や廃棄物処理・資源化などの技術や計画に対して熱意を持って取り組み、土木・環境分野および社会的課題に関する興味学問への関心を有し、自然科学の基礎学力に関する知識・理解と日本語と英語を基礎とした表現力を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる積極的に自己学習できる主体性をもった人材を求めています。</p>   |
|                    | <p><b>2. 入学者選抜の基本方針</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 一般入試（前期日程・後期日程）<br/>高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</li> <li>2) A〇入試<br/>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び筆記試験、集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。</li> </ol>   |

| 学科            | 学科のアドミッション・ポリシー  |
|---------------|--|
| 社会環境システム工学 学科 | <p>調査書では、知識・理解について評価します。</p> <p>自己推薦書では、表現力、学問への関心について評価します。</p> <p>活動報告書では、表現力、主体性について評価します。</p> <p>筆記試験では、知識・理解、思考力について評価します。</p> <p>集団討論では、主体性、協働性について評価します。</p> <p>個人面接では、表現力、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試</p> <p>外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>   |
|               | <p><b>3. 入学までに身に付けてほしいこと</b></p> <p>センター試験で課す数学、物理、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</p>  |
|               | <p><b>環境ロボティクス 学科</b></p> <p><b>1. 求める学生像</b></p> <p>環境ロボティクス学科では、技術者としての倫理観、問題解決能力、専門分野で通用するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、環境ロボティクス学科では、機械・電気電子・化学およびコンピュータ等の先端技術に関連する分野、ならびにロボット、介護・福祉機器、環境制御などの設計開発と生活環境や自然環境の改善に関連する学問への関心がある人材を求めています。</p> <p>また、実験や観察において深く考察する思考力と、その結果の表現力、数学、理科、英語に関する知識・理解、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元できる主体性がある人材を求めています。</p> <p><b>2. 入学者選抜の基本方針</b></p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程）</p> <p>高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試</p> <p>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び筆記試験、集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>調査書では、知識・理解について評価します。</p> <p>自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>筆記試験では、知識・理解と思考力を評価します。</p> <p>集団討論では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうか、グループ内で意見集約できるかどうかを調査します。それによって、協働性を評価します。</p> <p>個人面接では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試</p> <p>外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p> <p><b>3. 入学までに身に付けてほしいこと</b></p> <p>センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に着けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</p> |
| 機械設計システム工学 学科 | <p><b>1. 求める学生像</b></p> <p>機械設計システム工学学科では、機械と自然との調和を考える能力、社会秩序や環境保護に対する技術者の責務を考える能力、資源とエネルギーの有効利用を考える能力、機械工学に関連する問題解決能力と創造力、アイデアを実現できるデザイン能力およびそれを説明するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、機械設計システム工学学科では「人と自然に優しいものづくり」に関連する技術の開発や研究に対して熱意を持って取り組み、数学及び理科の基礎的な知識・理解を有し、コミュニケーション能力を身に付ける上で必要となる語学能力と学問への関心を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる意欲溢れる人材を求めています。</p> <p><b>2. 入学者選抜の基本方針</b></p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程）</p> <p>高等学校までに修得した基礎科目と理数系科目など大学の学習で必要となる学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試</p> <p>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。</p> <p>調査書では、数学及び理科の基礎的な知識・理解について評価します。</p> <p>自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>集団討論では、協働性を評価します。</p> <p>個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p>   |

| 学科          | 学科のアドミッション・ポリシー   |
|-------------|---|
| 機械設計システム工学科 | 3) 私費外国人留学生入試<br>外国人留学生に対し、小論文、面接、日本留学試験及び書類審査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。  |
|             | <b>3. 入学までに身に付けてほしいこと</b><br>数学、物理・化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、自主的・継続的に学習する能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。  |
|             | <b>1. 求める学生像</b><br>電子物理工学科では、現代産業の発展に寄与できる科学技術者の育成を目的とした教育を行います。特に、太陽光発電やエネルギー計測といった最先端の産業分野に象徴される高度技術社会に対応できる人材の育成を目標としています。<br>そこで電子物理工学科では、自然科学や科学技術に対する強い関心とそれらを生かして将来社会の役に立つ意欲がある人、数学や物理などの基礎的学力を有し持続して勉学に取り組むことができるとともに課題の解決に向けて積極的に行動できる人、基礎的な英語力を持ち日本語での講義を理解できる人を求めています。  |
| 電子物理工学科     | <b>2. 入学者選抜の基本方針</b>  |
|             | 1) 一般入試（前期日程・後期日程）<br>高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。   |
|             | 2) AO入試<br>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び筆記試験、集団討論、個人面接によって総合的に判断します。<br>調査書では、知識・理解を評価します。<br>自己推薦書及び活動報告書では、自然科学や科学技術への関心度や学校内外の様々な学習成果や活動実績・資格等を審査します。それによって、表現力、主体性、学問への関心について評価します。<br>筆記試験では、高等学校等で学習する内容に対する知識・理解、思考力を評価します。<br>集団討論では、協働性について評価します。<br>個人面接では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。   |
|             | 3) 私費外国人留学生入試<br>外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。  |
|             | <b>3. 入学までに身に付けてほしいこと</b><br>センター試験で課す物理、数学、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、表現力、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。   |
| 電気システム工学科   | <b>1. 求める学生像</b><br>電気システム工学科では、技術者にとって必要となる数学を含めた自然科学の知識、電気エネルギーおよび情報通信分野に関する専門技術と実践能力、課題探求能力、課題解決能力およびデザイン能力を有し、多様なグローバル社会の要請に応え得る能力、技術者に求められるコミュニケーション能力、技術者に求められる倫理観、課題や問題に対して、自律的、継続的に取り組むことができる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。<br>そこで、電気システム工学科では、電気電子工学分野に対して熱意を持って取り込み、国際的な視野を有し、常に自分が何をもって社会に貢献できるかを問い続ける柔軟な考え方や数学、理科、英語などの基礎的学力、基礎的な表現力を持つ人、また、問題解決へ向けて、自分から積極的に目標と計画を立て、強い意志をもって持続的に取り組むことができる人を求めています。            |
|             | <b>2. 入学者選抜の基本方針</b>  |
| 電気システム工学科   | 1) 一般入試（前期日程・後期日程）<br>高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目を中心に大学の学習で必要となる専門科目を理解出来る基礎学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。   |
|             | 2) AO入試<br>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、一般入試では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力や学習意欲が備わっている人を受け入れます。<br>AO入試では、科学技術に対する強い興味と学習意欲を持っていることに加えて、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び小論文、集団討論、個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。<br>調査書では、知識・理解について評価します。<br>自己推薦書では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。<br>活動報告書では、知識・理解、表現力、主体性、学問への関心について評価します。<br>小論文では、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。<br>集団討論では、協働性について評価します。<br>個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 |

| 学科        | 学科のアドミッション・ポリシー   |
|-----------|---|
| 電気システム工学科 | <p>3) 私費外国人留学生入試<br/>外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、技術者に必要な能力に加えて国際性や語学力、日本で研鑽する熱意、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>   |
|           | <p><b>3. 入学までに身に付けてほしいこと</b><br/>センター試験で課す数学、物理など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくこと、電気システム工学分野の中核的科目である数学と物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な問題を解くことができることなど、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>  |
| 情報システム工学科 | <p><b>1. 求める学生像</b><br/>情報システム工学科では、社会に対する責任感、問題解決能力、専門分野で通用する高度なコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。<br/>そこで、情報システム工学科では、情報科学技術を通じ、人類の幸福と社会の発展に貢献しようと熱意を持って取り組み、公式を覚えるのではなく公式そのものを導出できる知識・技能を有し、情報工学の学習に必要な数学、理科、英語についての基礎学力を持ち、明確な目標を持って継続的に自己学習を続けられる主体性を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる情熱に溢れる人材を求めています。</p>   |
|           | <p><b>2. 入学者選抜の基本方針</b></p>   |
|           | <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程）<br/>高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) AO入試<br/>高等学校での学業成績が優秀なだけでなく様々な活動を積極的に行った者に対して、書類審査（調査書、自己推薦書、活動報告書）及び個人面接によって多様な能力を総合的に判断します。<br/>調査書では、知識・理解について評価します。<br/>自己推薦書及び活動報告書では、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。<br/>個人面接では、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試<br/>外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p> |
|           | <p><b>3. 入学までに身に付けてほしいこと</b><br/>センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>   |



## 2. 募集人員

| 学 科         | 募集人員 |
|-------------|------|
| 環境応用化学科     | 8    |
| 社会環境システム工学科 | 5    |
| 環境ロボティクス学科  | 5    |
| 機械設計システム工学科 | 8    |
| 電子物理工学科     | 5    |
| 電気システム工学科   | 8    |
| 情報システム工学科   | 8    |

## 3. 出願資格

次の各号に該当する者

- (1) 高等学校を平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成31年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (4) 志望学科に対する熱意を有する者
- (5) 合格した場合は入学することを確約できる者

※ 高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。

## 4. 出願手続

宮崎大学では、平成31年度入学試験から、インターネットを利用した出願方法に変更します。紙媒体の出願方法との併用は行いませんので、従来冊子体で配付していた学生募集要項は、本学ホームページから電子ファイル（PDF形式）をダウンロードして入手又は参照してください。

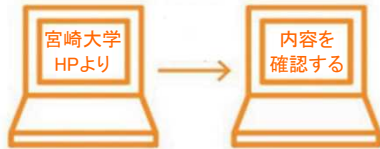
## 【インターネットを利用した出願の流れ】

### 1 入試区分・入試制度の確認

本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、自分が受験する学部・学科・課程等の出願資格、出願期間、必要書類、試験日、試験科目等を確認します。

募集要項掲載URL

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/>



### 2 出願情報の登録

インターネットに接続しているパソコンから、画面の指示に従って登録内容を入力します。

●登録内容

◎入試区分の選択 ◎志望学部・学科等・受験科目等の選択

◎個人情報の入力 ◎写真データのアップロード

インターネット出願登録サイト

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/internet-application.html>



### 4 検定料支払い方法の選択

検定料の支払い方法を選択します。

●支払い方法

◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア

◎銀行ATM(ペイジー) ◎ネットバンキング



### 3 出願情報の確認・修正

登録した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できますので、学校の先生や保護者の方が確認する場合も簡単です。



### 5 検定料のお支払い

選択した支払い方法に従って検定料を支払います。



### 6 出願内容確認票の印刷

出願内容確認票等を印刷します。



### 8 受験票の印刷

出願が完了し、数日後に「受験票印刷可能通知メール」を志願者が登録した電子メールアドレスへ送信しますので、各自受験票を印刷し、試験当日に持参してください。



### 7 提出書類の郵送

出願内容確認票(6で印刷したもの)、調査書等提出が必要な書類を宮崎大学へ郵送又は持参し、出願完了!



本学に入学を志願する者は、次の（１）～（５）により、手続きを行ってください。

（１）インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

- ① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料17,000円（別途、払込手数料640円）の支払い（以下「インターネット出願登録」という。）が必要となります。

＜インターネット出願登録サイト＞

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/internet-application.html>

- ② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。
- ア 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア、銀行、ATM、クレジットカード及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。
- イ 電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。（この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。）
- ウ 受験票及び写真票に使用する写真データが必要となります。上半身脱帽正面向き無背景で、直近3か月以内に撮影した100KB～5MBサイズのjpg又はpngデータをアップロードしてください。
- エ A4サイズの内紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷することになります。）
- オ （２）の提出書類のうち、「② 出願者が準備する必要提出書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要する場合があります。
- ③ 自宅や在籍する学校・予備校等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、宮崎大学入試課（0985-58-7138）まで相談してください。

※ インターネット出願登録後、入学検定料を支払い、（２）の提出書類を郵送又は持参することで、出願完了となります。（３）の受付期間内に提出書類の郵送又は持参がない場合、出願未完了（登録データは無効）となりますので、注意してください。

※ 出願情報の登録方法等の詳細については、上記＜インターネット出願登録サイト＞をご覧ください。

（２）提出書類

インターネット出願登録完了後、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に次の①及び②の書類等を入れて提出してください。

- ① インターネット出願登録サイトから登録・印刷（A4で印刷）

| 出願書類             | 摘 要                            |
|------------------|--------------------------------|
| 出願内容確認票<br>（提出用） | インターネット出願登録及び入学検定料支払い後、印刷したもの。 |
| 宛名ラベル            | 提出書類を入れた角形2号封筒に貼り付けてください。      |

② 出願者が準備する必要提出書類

| 出願書類  | 摘 要  |
|-------|--|
| 調査書   | 文部科学省で定めた様式により出身学校長が作成し厳封したもの。   |
| 自己推薦書 | 本学所定の様式に、本人自筆で記入してください。様式は下記URLからダウンロードしてください。<br><a href="http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/">http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/</a>  |
| 活動報告書 | 本学所定の様式に、本人自筆で記入してください。様式は下記URLからダウンロードしてください。記入の際は11ページの「(1) ① 第1次選考」をよく読んで記入してください。<br><a href="http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/">http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/</a> |
| 根拠資料  | 上記の活動報告書に記載した事項について、根拠資料の写し(A4サイズ)あるいはそれに代わる資料を提出してください。   |

調査書の記載についての注意事項（出身高等学校長の皆様へ）

- ① 「2. 各教科・科目等の学習の記録」欄の「修得単位数の計」は必ず記入してください。
- ② 学習成績概評A段階に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、「4. 学習成績概評」欄に㊸と標示した場合には、「9. 備考」の欄にその理由を明示してください。
- ③ 調査書中「5. 出欠の記録」欄に、欠席日数を記載した場合、必ず備考欄に欠席理由を記入してください。
- ④ 「校長名」及び「記載責任者職氏名」は必ず明記し、押印（写しは不可）してください。

(3) 出願書類（提出書類）の受付期間等

平成30年8月22日（水）～8月24日（金）

- ① 持参の場合の受付時間は、8時30分から17時までです。
- ② 郵送する場合は、必ず「書留速達」とし、入試課へ期間内必着（17時必着）です。  
なお、期間内に到着しない場合は受理しませんので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。
- ※ インターネット出願登録期間は、「平成30年8月10日（金）～8月24日（金）17時まで」としており、事前に登録可能です。  
なお、インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、受付期間内に（2）の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。

(4) 提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地  
宮崎大学学生支援部入試課  
電話：0985-58-7138

(5) 提出方法

インターネット出願登録及び入学検定料支払い後にインターネット出願登録サイトから宛名ラベルを印刷してください。市販の角形2号封筒(240mm×332mm)にそれを貼り付け、(2)の提出書類を全て入れて、持参又は郵送してください。郵送する場合は必ず「書留速達」としてください。

(6) 注意事項

- ① インターネット出願登録サイトにおいて出願登録を完了した後は、志望学科の変更はできません。(それ以前であれば、インターネット出願登録サイトから変更できます。)
- ② 出願書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。
- ③ 受付後の出願書類等は返還しません。
- ④ 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 第1次選考の不合格者に対しては入学検定料のうち13,000円を返還します。
- ⑥ 既納の検定料は、以下の場合を除き、返還いたしません。

ア. 提出書類を郵送又は持参しなかった場合

※ インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、(3)の受付期間内に(2)の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。

イ. 提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合

ウ. 誤って二重に支払った場合

返還請求の方法

検定料返還請求願(様式は問いません。氏名(フリガナ)、入試区分、返還請求理由、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座情報(銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義(カタカナ))を明記したものを作成し、以下宛へ平成31年3月31日(必着)までに、速やかに郵送してください。また、返還にかかる手数料は、原則、納入者本人の負担とします。なお、平成31年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学財務部財務課出納係

電話：0985-58-7122

(土曜日・日曜日及び祝日を除く)

(7) 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学生支援部入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、平成30年7月20日(金)までとします。

期限を過ぎている場合又は出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学生支援部入試課へ連絡してください。

②相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。(郵送可)

ア 志願者氏名・志望学部・学科

イ 障がい等の種類・程度

ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項

エ 出身学校でとられていた配慮事項

オ 日常生活の状況

カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/exam/1789-2>

### ③相談先

|  |
|--|
| 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地<br>宮崎大学学生支援部入試課<br>電話 0985-58-7138<br>FAX 0985-58-2865<br>(土曜日・日曜日及び祝日を除く) |
|--|

| 相 談 例  |   |
|--------|---|
| ①視覚障害  | 拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの  |
| ②聴覚障害  | 補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの  |
| ③肢体不自由 | 1. 肢体不自由により，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの<br>2. 肢体不自由により，常時の医学的観察指導を必要とするもの        |
| ④病 弱   | 1. 慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患により，医療又は生活規制を必要とするもの<br>2. 身体虚弱により，生活規制を必要とするもの |
| ⑤発達障害  | 自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障がい，学習障がい，注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの                             |
| ⑥その他   | ①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの  |

## 5. 受験票の印刷

9月7日（金）までに出願時に登録したメールアドレスに受験票が印刷可能となった旨の連絡をします。連絡があった後にインターネット出願システムからA4用紙に印刷し，受験時に必ず持参してください。

## 6. AO入試方法等

AO入試における志望する学科が指定する教科・科目，選考日時，試験場，携行品，配点及び合否判定基準等は次の（1）～（5）のとおりです。志望する学科の指定する教科・科目を確実に受験してください。

(1) 選抜方法等

① 第1次選考

調査書、自己推薦書及び活動報告書により選考を行います。

調査書及び自己推薦書では、高等学校等での学習及び出席状況や、今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて見ます。

活動報告書では、卒業製作、課題研究、課外活動、生徒会活動、ボランティア活動のほか各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加などの諸活動の状況や英語外部試験（英語検定、TOEIC、GTECなど）、各種資格の取得、ジュニアマイスター顕彰、各種表彰などの実績を基に評価しますので、これらについて記載し、根拠資料があるものについては、その写し（A4サイズ）あるいはそれに代わる資料を併せて提出してください。また、次表に示す事項があれば、必ず記載し、根拠資料の写し（A4サイズ）あるいはそれに代わる資料を追加資料として提出してください。

| 学 科         | 記載事項  |
|-------------|---|
| 社会環境システム工学科 | 数学検定2級，測量士補   |
| 環境ロボティクス学科  | ものづくりに関する経験・実績に関する事項を積極的に記載してください。  |
| 電気システム工学科   | 電気主任技術者3種の科目合格以上，情報通信の有用な資格等  |
| 情報システム工学科   | 自分で制作した各種ソフトウェア・画像や音声などのメディア作品・工作物の説明（説明に関する追加資料をつける場合は，A4版片面5ページ以内で，様式は自由），情報処理関連の各種資格 |

② 第2次選考

第1次選考に合格した者に対して、個人面接を行うとともに学科によっては集団討論や筆記試験又は小論文を課します。個人面接及び集団討論は提出書類も参考にして、志望する学科のアドミッションポリシーに基づいて、それに関わる分野への知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心を見ます。また、学科によっては志望する学科で必要となる高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する口頭試問を含みます。

各学科の試験実施方法等は次のとおりです。

| 学 科     | 教科・科目及び実施方法等  |
|---------|---|
| 環境応用化学科 | <ul style="list-style-type: none"><li>・小論文（60分）<br/>当日提示する課題について800字以内で論述させます。</li><li>・個人面接（1人当たり20分程度）（口頭試問を含む）<br/>複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。<br/>口頭試問では、化学、数学及び英語について問います。<br/>面接では、自己推薦書、調査書、活動報告書及び小論文の内容を基に質問します。</li></ul> |

| 学 科         | 教科・科目及び実施方法等   |
|-------------|--|
| 社会環境システム工学科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験（60分）<br/>数学を課し，数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲としますが，主に「三角関数」及び「微分・積分の考え」を中心に出題します。</li> <li>・集団討論（50分程度）<br/>当日提示する課題について，受験生同士で討論させます。</li> <li>・個人面接（1人当たり10分～15分程度）<br/>複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。</li> </ul>                                       |
| 環境ロボティクス学科  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験（60分）<br/>数学を課し，数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲としますが，主に「三角関数」及び「微分・積分の考え」を中心に出題します。</li> <li>・集団討論（90分程度）<br/>当日提示する課題について，受験生同士の討論後，レポート作成を課します。<br/>討論が60分程度，レポート作成が30分とします。</li> <li>・個人面接（1人当たり10分程度）<br/>複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。</li> </ul>     |
| 機械設計システム工学科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団討論（90分程度）<br/>当日提示する課題について，受験生同士の討論後，レポート作成を課します。<br/>討論が60分程度，レポート作成が30分とします。</li> <li>・個人面接（1人当たり10分～15分程度）(口頭試問を含む)<br/>複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。<br/>口頭試問では，数学及び物理について問います。</li> </ul>   |
| 電子物理工学科     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験（60分）<br/>数学を課し，数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲としますが，主に「三角関数」及び「微分・積分の考え」を中心に出題します。</li> <li>・集団討論（90分程度）<br/>当日提示する課題について，受験生同士の討論後，レポート作成を課します。<br/>討論が60分程度，レポート作成が30分とします。</li> <li>・個人面接（1人当たり10分～15分程度）<br/>複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。</li> </ul> |



| 学 科       | 教科・科目及び実施方法等  |
|-----------|---|
| 電気システム工学科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文（60分）<br/>当日提示する課題について800字以内で論述させます。</li> <li>・集団討論（90分程度）（口頭試問を含む）<br/>当日提示する課題について，受験生同士の討論後，レポート作成を課します。<br/>討論が60分程度，レポート作成が30分とします。</li> <li>・個人面接（1人当たり15分程度）（口頭試問を含む）<br/>複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。<br/>口頭試問では，数学及び物理について問います。</li> </ul> |
| 情報システム工学科 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面接（1人当たり30分程度）（口頭試問を含む）<br/>複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。<br/>活動報告書について5分程度のプレゼンテーションを含みます。<br/>口頭試問では，数学について問います。</li> </ul>   |

(2) 選考日時，試験場及び携行品等

① 第1次選考

各学科とも書類選考のみとなるため，試験は実施しません。

② 第2次選考

ア．選考日時 平成30年9月25日（火），26日（水） 9時から

※ただし、受験者数によっては9月25日（火）の一日で終了する場合があります。

詳しくは，第1次選考結果通知の際にお知らせします。

イ．試験場 宮崎大学工学部（宮崎市木花台西1丁目1番地）

ウ．集合時刻 午前8時30分

エ．携行品 ①宮崎大学入学試験受験票（AO入試）

②筆記用具

(3) 配点

① 第1次選考

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 書類審査<br>(自己推薦・調査書・活動報告書) | 合 計 |
| 100                      | 100 |

② 第2次選考

|                          |                        |     |
|--------------------------|------------------------|-----|
| 書類審査<br>(自己推薦・調査書・活動報告書) | 小論文・筆記試験・<br>集団討論・個人面接 | 合 計 |
| 100                      | 400                    | 500 |

#### (4) 合否判定基準

##### ① 第1次選考

第1次選考の合計得点（100点満点）により順位付けを行い、合否を決定します。合計得点が同点の場合には、同順位とします。

第1次選考の合格者数の上限は、各学科とも募集人員の3倍程度とします。

##### ② 第2次選考

本学が指定する教科・科目をすべて受験しなければ、第2次選考の合否判定の対象となりません。

第1次選考の結果及び第2次選考の合計得点を総合し（500点満点）、順位付けを行い、合否を決定します。

なお、合計得点が同点の場合には、『小論文・筆記試験・集団討論・個人面接』の点数の高い方から順位付けを行います。

## 7. 受験上の注意事項

### (1) 試験前日までの注意事項

① 試験場については、第2次選考日前日の午後に工学部試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。

ただし、建物に立ち入ることはできません。

② 重要なお知らせ等がある場合は、以下の本学ホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。

URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam>

③ 天候や交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することの無いよう、万全の準備を行ってください。

### (2) 試験当日の注意事項

① **本学の受験票**を必ず持参してください。

② 指定された時間までに指定された集合場所にて待機してください。（時間、場所については第1次選考結果の際に同封する文書で確認してください。）

また、やむを得ない事情で遅刻する場合は必ず以下へご連絡ください。

・工学部試験場：教務・学生支援係 TEL：0985-58-2891

③ 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。

④ その他、**受験票に記載の「試験場における注意事項」**を必ず確認してください。

### (3) 入試Q&Aについて

出願書類・実施方法等に関して、お問い合わせの多い事項をQ&A形式にまとめたものを以下の本学ホームページにて掲載しております。

URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/exam/q-anda>

## 8. 合格者発表

### (1) 第1次選考

平成30年9月12日（水）10時から創立330記念交流会館前（22ページ）に合格者の受験番号を掲示し、合格者には第1次選考合格通知書及び第2次選考試験日程通知書を送付します。

不合格者へはその旨の通知書と検定料一部返還手続の書類を送付します。

### (2) 第2次選考（最終合格）

平成30年10月18日（木）10時から創立330記念交流会館前（22ページ）に合格者の受験番号を掲示し、合格者には合格通知書を送付します。

- ・合格者発表当日の正午頃までに、ホームページ(<http://www.miyazaki-u.ac.jp>) に合格者の受験番号を掲載しますが、これは情報サービスの一環として行うものであり、公式の合格者の発表は上記に記載しているとおります。
- ・合格者発表に関する電話等の照会には一切応じません。

## 9. 一般入試, AO入試, 推薦入試への出願及び受験

このAO入試で不合格となった場合に備えて「前期日程」から1つ、「後期日程」から1つ、合計2つの国公立大学・学部等の一般入試への出願及び受験が可能です。

本学工学部のAO入試に出願する場合、本学教育学部及び他の国公立大学・学部等のAO入試へ出願することはできません。また、本学を含む国公立大学・学部等の推薦入試へ出願することもできません。ただし、不合格者においては、その合格者発表日以降であれば、他の国公立大学・学部等のAO入試及び本学を含む国公立大学・学部等の推薦入試に出願することができます。

なお、国公立大学・学部等のAO入試合格者で、入学を辞退し一般入試への出願及び受験を志望する者は、当該AO入試を実施する大学・学科等の定める入学辞退手続により入学の辞退を承認されない限り、一般入試を受験しても合格者とはなりません。

本学における入学辞退については、「12. 入学手続に関する注意事項」(19ページ)を参照してください。

## 10. 本学の一般入試を志望する者の手続

AO入試志願者で本学の一般入試を志望する者は、一般入試学生募集要項により平成31年1月28日(月)から2月6日(水)までに、一般入試の志願者として出願してください。

[本学の一般入試学生募集要項は、平成30年11月中旬に発表する予定です。]

### 11. 入学手続等

#### (1) 入学手続関係書類の送付

合格者へ入学手続関係書類を平成30年12月上旬に送付します。

#### (2) 入学手続期間

**平成31年2月19日(火)まで(17時必着)**

※ 原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡の上、来学しての入学手続が可能です。

上記期日までに入学手続きを完了しない者は、AO入試合格者としての権利が消滅します。

この場合、他に出願済みの国公立大学・学部を受験しても、その国公立大学・学部の合格者とはなりません。「12. 入学手続に関する注意事項」も参照してください。

#### (3) 入学手続方法

合格者は、入学手続期間内に入学手続書類を提出し、所定の入学料を納入のうえ、入学手続を完了してください。

#### (4) 納 入 金

##### ① 入学料 282,000円

(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくこととなります。

(注2) 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

ア. 入学手続をしなかった場合

イ. 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※ 返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

##### ② 授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円 年額 535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後にお支払いいただくこととなります。

(注2) 授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。授業料に関する事項はホームページ

(<http://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fess/jugyou/>)にてご確認ください。

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくこととなります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

#### (5) 入学手続の際に提出を求める書類等

合格者には、合格通知書、入学手続関係書類を送付します。必要事項を記入のうえ、これらの書類を提出してください。また、本学の受験票を提出してください。

#### (6) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

**ただし、免除を希望しても「免除の対象者」に該当しない場合は申請できませんので、事前に担当（学生生活支援課 0985-58-7976）へ必ず連絡してください。**

① 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

② 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

③ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

#### (7) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

① 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者

② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

#### (8) 授業料免除及び徴収猶予

次のいずれかに該当する者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。なお、授業料免除申請者は免除の可否が決定するまでの間、授業料の徴収が猶予されます。また、申請時期は大学の指定する日で前期・後期の年2回です。

① 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者

② 日本学生支援機構給付型奨学金制度の給付奨学生

③ 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

④ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

⑤ ③、④に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

入学料免除及び徴収猶予，授業料免除及び徴収猶予に関する問い合わせ先  
宮崎大学学生支援部学生生活支援課  
電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(9) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。

これらはいずれも，人物，学業成績が優秀であり，経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また，修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し，優秀な人材の輩出をはかることを目的とし，学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため，本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先  
宮崎大学学生支援部学生生活支援課  
電話：0985-58-7140，7976，7882（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(10) 教育用ノート型パソコンの購入・必携化について

国際社会におけるネットワーク化が進む中，「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では，1年次の基礎教育開始時からコンピュータを使った文書作成，データを図表化する方法等の習得，ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等，情報関連の教育を実施しています。また，専門教育に関しても，講義・実験のレポート作成や予習，復習のため，インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから，宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに，学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。

追って，宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については，入学手続き時に再度ご案内いたします。

なお，医学部については，定められたパソコン端末により全国共通試験・演習等の実施の必要性から，所定のパソコンを設置していますので，個人所有のパソコンを携帯する必要はありません。

(11) 在学中の保険制度について

本学では，学生が安心して修学及び研究活動ができるように，学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」，「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は，修学及び研究活動中又は通学中に起こった不慮の事故により，加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり，全員加入としています。また，「学研賠」，「医学賠」は，加入者が修学及び研究活動中に他人にケガをさせたり，他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

さらに保障範囲を拡大した保険として「学研災付帯学生生活総合保険」があり，加入は任意です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては，入学手続き書類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先  
宮崎大学学生支援部学生生活支援課  
電話：0985-58-7135（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(12) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、下記①のとおり11月初旬に掲載する「学生寄宿舍入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。また、ダウンロードできない方は、下記②のとおり「学生寄宿舍入居申請要項」を請求し、同要項に綴り込みの「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は必ず提出期限までに提出してください。

① ダウンロードによる学生寄宿舍入居申請要項の請求について

学生支援部ホームページ (<http://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/>) にある重要なお知らせの学生生活情報の欄をご覧ください。

② 学生寄宿舍入居申請要項の請求

ア 請求方法：返信用封筒（角形2号，本人の住所・氏名・郵便番号を明記のうえ，140円分の切手を貼付したもの）を同封し，「学生寄宿舍入居申請要項（AO入試）請求」と朱書のうえ，請求してください。

イ 請求先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地  
宮崎大学学生支援部学生生活支援課  
電話：0985-58-7142

ウ 請求期限：平成31年1月4日（金）

③ 学生寄宿舍の概要

| 寄宿舍名   | 男子寄宿舍                                       | 女子寄宿舍  | 国際交流宿舎        |
|--------|---|--------|---------------|
| 収容定員   | 100人  | 100人   | 165人          |
| 募集人員   | 6人  | 6人     | 11人           |
| 入居資格   | 学部男子学生                                      | 学部女子学生 | 学部学生（男・女）     |
| 入居許可期間 | 1年間（平成31年4月～平成32年3月）<br>※4年間を保証するものではありません。 |        |               |
| 寄宿料    | 月額7,000円                                    |        | 月額4,700円      |
| 構造     | 鉄筋コンクリート5階建                                 |        | 鉄骨鉄筋コンクリート8階建 |
| 居室定員   | 1人（個室）                                      |        |               |
| 居室面積   | 9㎡  | 9㎡     | 11㎡           |
| 共用施設   | 補食室（自炊可能），浴室，洗濯室，<br>トイレ（国際交流宿舎は居室に設置）      |        |               |
| 諸経費    | 光熱水費等 月額 8,000円程度                           |        |               |
| 所在地    | 〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地                   |        |               |

（注1）募集人員には，推薦入試合格者，AO入試合格者，帰国子女入試合格者，社会人入試合格者及び編入学試験合格者が含まれます。

（注2）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は，改定時から新寄宿料が適用されます。

## 1 2. 入学手続に関する注意事項

AO入試の合格者は、AO入試の趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然ですが、特別の事情があり、合格者本人が2月19日(火)17時までに「入学辞退願」を本学学長に提出し、その承認を得た場合に限りその入学辞退を認めます。

入学辞退を承認された者は、国公立大学・学部等の一般入試を受験することができます。

「入学辞退願」を提出して当該大学の入学の辞退を承認されない限り、他に出願済みの国公立大学・学部等を受験しても、その合格者とはなりません。

## 1 3. 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- (2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- (4) 上記（2）及び（3）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- (5) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入試センターの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報等に限り、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知されます。
- (6) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

## 1 4. 入学試験成績の情報開示

本学では、入学試験の結果について、各試験単位（学科、課程、コース等）毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示しますので、希望があれば必要な手続きを行ってください。

### 記

- (1) 開示請求者  
本学が実施した平成31年度入学試験を受験した者
- (2) 開示請求の方法  
受験者本人が「宮崎大学入試情報開示願」に必要事項を記入し、「本学受験票」、「開示通知用封筒(長形3号封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し402円切手を貼ったもの)」を学生支援部入試課に郵送又は持参してください。  
※受験票は必ず原本を提出してください。コピーは認めません。受験票原本の提出がない者には、いかなる理由があっても情報開示を行いませんので、大切に保管しておいてください。  
※「宮崎大学入試情報開示願」は、本学ホームページ（4月中旬に掲載予定）からダウンロードして使用してください。または、郵送（長形3号の返信用封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し82円切手を貼ったものを封入）によるか来学により取り寄せてください。

- (3) 開示請求期間  
平成31年5月13日(月)から同年6月7日(金)(必着)まで  
(ただし、土曜日、日曜日は除く。)  
※ 5月24日(金)までの本学到着分は6月上旬頃に、それ以降の本学到着分は6月下旬頃に返送を予定しております。
- (4) 開示情報の内容  
試験成績による順位  
(3人以下の合格者及び不合格者については、開示しない。)  
Aランク：合格者の中で上位1/2の者  
Bランク：合格者の中で下位1/2の者  
Cランク：不合格者の中で上位1/2の者  
Dランク：不合格者の中で下位1/2の者
- (5) 開示の方法  
開示請求者宛てに希望する開示情報を記載した資料を簡易書留にて郵送します。

入学試験情報の開示に関する問い合わせ  
宮崎大学学生支援部入試課  
電話：0985-58-7138(土曜・日曜を除く)





# 16. 試験場配置図

## 宮崎大学（木花キャンパス）入学試験場

